乙字湯エキス

確認試験(5)の項を次のように改める.

確認試験

（５） 乾燥エキス1.0 g (軟エキスは3.0 g)をとり，水10 mLを加えて振り混ぜた後，1－ブタノール10 mLを加えて振り混ぜ，遠心分離し，上澄液を試料溶液とする．薄層クロマトグラフィー用(*E*)－イソフェルラ酸・(*E*)－フェルラ酸混合試液を標準溶液とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液10 μL及び標準溶液2 μLを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次に酢酸エチル／アセトン／水混液(20：12：3)を展開溶媒として約7 cm展開した後，薄層板を風乾する．これに硫酸を均等に噴霧し，105 ℃で5分間加熱した後，紫外線(主波長365 nm)を照射するとき，試料溶液から得た数個のスポットのうち1個のスポットは，標準溶液から得た淡黄白色の蛍光を発するスポットと色調及びR_f値が等しい(ショウマ).

9．41 試薬･試液の項に次を追加する.

(*E*)－イソフェルラ酸 $C_{10}H_{10}O_4$ 白色～淡黄色の結晶又は結晶性の粉末である．メタノール又はエタノール(99.5)にやや溶けにくく，水にほとんど溶けない．融点：約230 ℃(分解).

確認試験 本品のメタノール溶液(1→200000)につき，紫外可視吸光度測定法〈*2.24*〉により吸収スペクトルを測定するとき，波長215～219 nm，238～242 nm，290～294 nm及び319～323 nmに吸収の極大を示す.

純度試験 類縁物質 本品1 mgをメタノール1 mLに溶かした液2 μLにつき，「補中益気湯エキス」の確認試験(11)を準用し，試験を行うとき，R_f値約0.6の主スポット以外のスポットを認めない.

(*E*)－イソフェルラ酸・(*E*)－フェルラ酸混合試液，薄層クロマトグラフィー用 (*E*)－イソフェルラ酸1 mg及び(*E*)－フェルラ酸1 mgをメタノール2 mLに溶かす.